

【乳がん検診精度管理5指標】(令和4年度)

	単位 %	検診実施方法	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率	要精検率	精検受診率	乳がん発見率※	陽性反応適中度※
市町	金沢市	集団	90,330	1,748	4.0	7.8	87.5	0.333	5.438
		個別		4,856	11.2	4.1	95.0	0.433	10.674
	七尾市	集団	9,758	589	13.9	6.5	88.1	0.275	3.544
		個別		11	0.3	18.2	100.0	0.000	0.000
	小松市	集団	20,219	1,540	15.7	5.6	94.5	0.390	6.008
		個別		244	2.4	6.1	93.3	0.152	1.905
	輪島市	集団	4,444	352	14.6	2.5	100.0	0.099	2.830
		個別		99	4.2	11.6	100.0	0.543	4.878
	珠洲市	集団	2,416	200	13.5	5.1	100.0	0.306	8.621
		個別		99	6.5	7.4	77.8	0.876	17.143
	加賀市	集団	12,533	1,405	16.0	4.3	92.3	0.282	5.415
		個別		543	6.9	9.7	94.6	0.432	4.743
	羽咋市	集団	3,983	525	19.0	3.4	96.0	0.226	5.732
		個別		56	3.4	7.5	60.0	0.000	0.000
	かほく市	集団	6,676	622	18.6	5.3	95.1	0.410	8.293
		個別		100	2.7	9.1	90.0	0.225	1.852
	白山市	集団	22,311	1,038	9.4	6.2	95.3	0.320	4.305
		個別		647	6.1	7.4	98.1	0.595	7.985
	能美市	集団	9,624	467	15.9	6.5	92.3	0.249	3.552
		個別		196	4.8	9.5	100.0	1.139	8.721
野々市市	集団	10,102	654	15.9	5.3	93.3	0.449	6.266	
	個別		323	5.0	11.9	98.0	0.938	8.654	
川北町	集団	1,211	213	28.4	5.4	86.7	0.149	2.778	
	個別		4	0.6	25	100.0	6.667	50.000	
津幡町	集団	7,805	551	15.5	6.4	95.6	0.408	8.696	
	個別		150	4.0	11.9	91.3	0.397	3.738	
内灘町	集団	5,433	724	17.9	3.5	100.0	0.396	10.734	
	個別		278	5.9	5.1	80.0	0.236	4.918	
志賀町	集団	3,619	566	20.9	4.8	95.0	0.377	7.895	
	個別		46	2.5	2.0	100.0	0.000	0.000	
宝達志水町	集団	2,437	188	18.3	4.0	83.3	0.238	3.922	
	個別		35	2.5	15.8	100.0	0.000	0.000	
中能登町	集団	3,241	448	19.3	3.7	88.5	0.209	5.063	
	個別		4	0.3	25	100.0	0.000	0.000	
穴水町	集団	1,418	122	15.7	4.4	75.0	0.198	3.125	
	個別		13	1.6	0	-	0.000	0.000	
能登町	集団	2,967	283	16.3	4.0	100.0	0.501	11.905	
	個別		86	5.1	6.1	66.7	0.000	0.000	
検診機関	成人病予防センター	集団	75,619	10,146	25.1	5.4	91.9	0.341	6.341
	予防医学協会	集団	75,619	2,087	4.9	4.6	95.2	0.600	12.903

- 「受診率」
乳がん検診の対象者のうち受診された方の割合です。高いことが望ましいとされています。
 - 「要精検率」：要精検者/全受診者
受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、基準値は6.4%以下とされています。
 - 「精検受診率」：精検受診者/要精検者
「要精密検査」とされた方のうち、実際に精密検査を受けられた方の割合で、精度評価の最も重要な指標と位置付けられています。高いことが望ましい値で基準値は90%以上とされています。
 - 「乳がん発見率」：発見乳がん患者/全受診者 ※市町はH30～R4の5年平均
受診された方のうち乳がんが発見された方の割合で、基本的に高ければ高い方が望ましい指標です。基準値は0.31%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出しております。
 - 「陽性反応適中度」：発見乳がん患者/要精検者 ※市町はH30～R4の5年平均
検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に乳がんがあった方の割合で、基準値は4.8%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出しております。
- ※「精検受診率」は許容値を下回るとは良くないとされていますが、それ以外の指標は、人口構成による違いや継続受診者の比率、喫煙者の比率などによっても大きな影響を受けるため、下回れば必ず問題があるとは言えません。
- また、「乳がん発見率」「陽性反応適中度」は、小さな自治体では年度による変動が大きいとされています。

※ 市町は地域保健・健康増進事業報告、検診機関は石川県生活習慣病管理指導協議会における課題検討結果報告による。
 ※ 対象者数、受診者数、受診率は40～69歳、その他の指標は40歳以上を算定の対象としている。
 ※ 市町のがん発見率と陽性反応適中度は5年平均で算出。
 ※ 厚生労働省 がん検診のあり方に関する検討会報告書「がん検診事業のあり方について(令和5年6月)」別添6より「連続受診者がいることを考慮」の基準値を用いている。網掛けは基準値に達していない市町。